

Q、仲町小ではどんな対策をしていますか？

A、普段から毎朝健康観察を行い、1時間目が始まる前に出欠状況を把握しています。欠席が多いクラスや、心配な状況がある場合は、養護教諭が健康観察に行ったり、クラス全員に検温し、体調が悪い子は早めにお家の方に引き取りをお願いしています。






現在休み時間には保健委員会の児童が、手洗いやうがい、空気の入替えの呼びかけを行っています。加湿器の使用（台数に限りがあるのですが）や濡れたバスタオルを窓枠等にかけて湿度の管理をしています。また、泡状の薬用ソープや指手消毒液などを学級で管理し、手洗いや手の清潔等には特に気をつけるようにしています。

流行がみられる時期は、朝会や集会の際、欠席の多いクラスや学年を教室に待機させたり、児童の交流をできるだけ避けるような対応を考えます。

Q、この先の流行の見通しは？

A、先週は4年生が心配な状況が続いていました。低学年にはほとんど流行がみられませんでした。急に2年2組の欠席が増え、また2年4組の欠席者も多くなっています。練馬区内の状況を見ても、学年閉鎖などで、「児童の半数がいない」という学校もあるようです。仲町小ではA型とB型が混在して流行しています。「一度学級閉鎖になったから」「一回インフルエンザになったから」大丈夫ということはありません。今後も油断しないようにお願いします。

「インフルエンザ出席停止期間の基準」早見表

		発症日 (0日目)	発症後 1日目	発症後 2日目	発症後 3日目	発症後 4日目	発症後 5日目	発症後5日を経過した後	
	発症後1日目に解熱した場合	発熱	解熱	解熱後1日目	解熱後2日目	発症後4日目	発症後5日目		
		出席停止	出席停止	出席停止	出席停止	出席停止	出席停止	出席停止	登校可能
	発症後2日目に解熱した場合	発熱	熱あり	解熱	解熱後1日目	解熱後2日目	発症後5日目		
		出席停止	出席停止	出席停止	出席停止	出席停止	出席停止	出席停止	登校可能
	発症後3日目に解熱した場合	発熱	熱あり	熱あり	解熱	解熱後1日目	解熱後2日目		
		出席停止	出席停止	出席停止	出席停止	出席停止	出席停止	出席停止	登校可能
	発症後4日目に解熱した場合	発熱	熱あり	熱あり	熱あり	解熱	解熱後1日目	解熱後2日目	
		出席停止	出席停止	出席停止	出席停止	出席停止	出席停止	出席停止	出席停止
	発症後5日目に解熱した場合	発熱	熱あり	熱あり	熱あり	熱あり	解熱	解熱後1日目	解熱後2日目
		出席停止	出席停止	出席停止	出席停止	出席停止	出席停止	出席停止	出席停止

学校保健安全法施行規則の改正により、インフルエンザの出席停止期間の基準が「解熱後2日を経過するまで」から「発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日（幼児にあっては3日）を経過するまで」と変わりました。

発症した日からかぞえると、6日間の出席停止が必要ということになります。その後は、解熱した日によって出席停止日が延期されていきます。

出席停止の間中は、家庭で安静に過ごしましょう。